M5-6の実習では、地域視診の一環で
『生活者がみている風景』をお借りし、まちを見させてもらっている

コミュニティを理解するプロセス
～まちのジグソーパズルのピースを集めよう！～

もっと気軽にまちに出てみよう（理論は、あとから少しずつ）

異業種に帯同する
- 田舎でのホームステイや、移動販売・農家など

まちの人と仲良くなる
- 人柄で慕われている人をさがす
- 気になるあの人と顔なじみになる

歴史・文化（風土）

食習慣

共に生活や作業をして
その人・土地のことを
詳しく知る

生活環境

共に作業しながら
つぶやきを拾う

地域のつきあい（ネットワーク）

統計データ
- 地勢　• 人口　• 就労
- 一人親世帯　• 生活保護など

まち歩き

ステークホルダー※
へのインタビュー

市の経済状態・健康課題など
（行政担当者・保健師からの情報も含む）

自身の内面で感じたことにも
耳を傾けて考察を深める

地域診断

まちを理解する

コミュニティに特有な
健康の社会的決定要因の把握

ステークホルダー※と協働

※自治体、市民、NPO、福祉関係事業者、
商店街振興組合や商工会議所、地元企業などの
経済分野、教育分野、観光協会や
まちづくり活動団体など、地元で活躍する人びと

ヘルスプロモーションの【コミュニティ活動】

ささえあいの場づくりなど、
地域課題の解決に向け
地元の人びとと協働することで、相互理解が深まる

健康のイメージを広く持つ
- 毎日のうれしい、楽しいをつくろう
  運動や食事だけが、健康につながるわけではないんだね。
- おせっかいには、いろんな道がある 私にもできるんだ
- みんなで物語をつくる

まちのジグソーパズルの集め方

コミュニティの多角的理解のため、文化人類学な視点でフィールドワークを行います。異業種帯同やインタビューを通じ、地域の実態に触れ、「他者の肩越しから風景を見る」姿勢で他者理解を深めていきます。この過程では、自分の存在を消し去るのではなく、むしろ他者の「風景の見方」を借りることで自身の視点を振り返ります。なぜなら、場の構成要素である自身の視点は、関心や対象への理解度によって、変化するからです。図のように客観的なデータ、他者が見ている風景、そして自身が感じた主観的な視点などを活用しながら、地域の地理的・文化的・経済的・社会的なつながりなどに関連した【健康の社会的決定要因】を見いだしてゆきます。

ヘルスプロモーション活動の 5つ の理念 ★★★★★

この5つを意識すると、より効果的に
活動できるようになります。

01 日常生活の文脈で、人口全体を巻き込んでいること	02 健康の決定要因に関する行動に向けられていること
03 多様でありながら補完的な手法やアプローチを組み合わせていること	04 効果的で具体的な市民参加を目指していること
05 プライマリ・ケアの専門家らがヘルスプロモーションに栄養を与え、効果的にする重要な役割を担うこと	

（翻訳：阪本直人）出典:Kickbusch I. Health promotion: a global perspective. Can J Public Health. 1996 Sep-Oct;77(5):321-6. P.15,

ヘルスプロモーション戦略の概念図

個人に焦点	場づくり（Settings Approach）					集団に焦点
スクリーニング 個人のリスク評価 予防接種など	健康情報	ヘルス リテラシー の向上	コミュニティ 活動	ソーシャル マーケティング	組織開発	経済活動と規制 政策含む
健康な個人		健康なコミュニティ			健康な環境と社会	

医学的 アプローチ
高血圧※、予防接種の有無など

社会環境的 アプローチ｜失業、低学歴、貧困など

行動科学的 アプローチ｜ナッジ含む

健康（寿命）への影響

※ 高血圧症をはじめ生活習慣病は、疾患ではなく、最終アウトカムに対する危険因子として取り扱われる。

WHOヘルスプロモーション、コミュニティナースカンパニー「健康おせっかいベーシック講座」を参考にして作成

概念図『コミュニティを理解するプロセス～まちのジグソーパズルのピースを集めよ～』は、下記のメンバーで製作しました。

『Youはどうしてまちに出る！？』
医療系学生教育プログラム製作委員会メンバー

- 密山要用（王子生協病院, Community Nurse Company）
- 岩浪悟（東京都立多摩総合医療センター 救急・総合診療部）
- 漆畑宗介（JA秋田厚生連 湖東厚生病院）
- 近藤敬太（藤田医科大学 総合診療プログラム / 豊田地域医療センター）
- 玉井友里子（山家庭医療センター）
- 守本陽一（豊岡健康福祉事務所 [豊岡保健所）
- 岩瀬翔（多摩総合医療センター）
- 阪本直人（つくば家庭医・病院総合医プログラム）

＊所属は2022年度発足時のものです。（順不同）